

ISO/TC184国内審議団体事業

事業概要

継続

標準化分野

事業略称	ISO/TC184	期間	2014～	予算元	推進協議会会員会費	事業形態	任意
概要	ISO/TC184(オートメーションシステム及びインテグレーション)の国内審議団体の運営を行う。更にISO/TC184/SC4(産業データ)については、2021年4月より、(一社)日本自動車工業会(JAMA)、ITベンダ等が参加するものづくり標準データ推進協議会を2021年度より発足し、ISO/TC184/SC4推進協議会に代わり、ISO/TC184/SC4国内対策委員会の国際標準化活動を引き続き支援している。ものづくり標準データ推進協議会では定期的に定例技術委員会を開催し、産業データに関する国際標準化適用の観点で活動を実施している。						
ゴール	ISO/TC184国内審議団体の運営を実施する。						

2023年度 計画(左)／事業報告(右) [予算：1.1百万円 (MSD分) ／決算：1.3百万円]

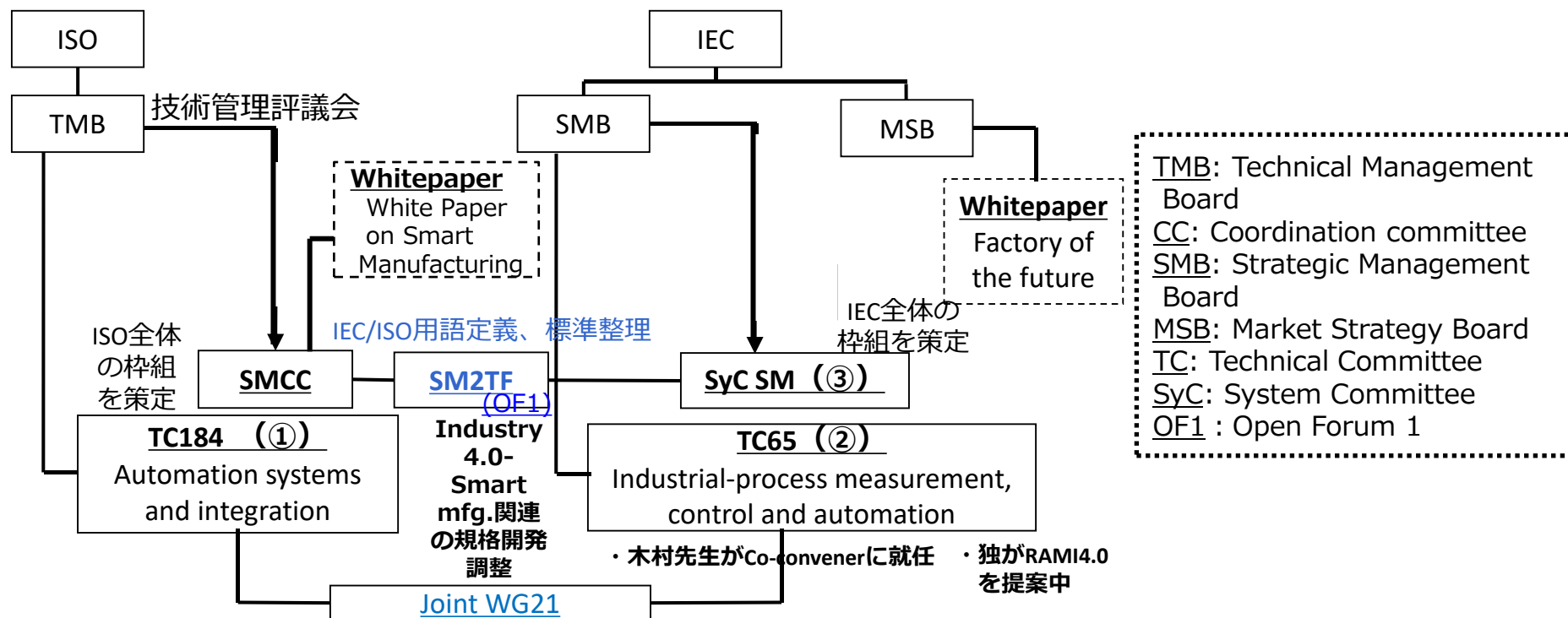
・産業オートメーション標準化推進委員会(IASP) TC184関連活動状況の共有、投票案件の審議	産業オートメーション標準化推進委員会を開催し、TC184関連活動状況の共有、投票案件を審議した(8/7,1/12,3/21)。
・ISO/TC184/SC4国内対策委員会 国際会議報告・SC4投票案件を審議 左記METI事業の推進	SC4国内対策委員会を開催(6/1,7/6,10/11,11/8)し、SC4国際会議(5月,10月)の報告・投票案件を審議した。 ISO10300-62規格開発(METI事業EQVv2)を推進した。
・ISO/TC184/SC5国内対策委員会 SC5関連の投票案件の審議 左記METI事業の推進	SC5関連の規格開発を推進し、投票案件を審議した。 ISO20140-5規格開発(METI事業：環境影響評価) ISO16400-4規格開発(METI事業：動的装置モデル) ISO16518規格開発(METI事業：協力ネット)
・ものづくり標準データ推進協議会(MSD) デジタルデータ流通に関する活動検討	SC4国内対策委員会の支援と協議会活動の活性化を検討。 総会(6/9)、幹事会(4/6,7/27,11/14,3/6)、定例技術委員会(4回)。3D図面に関する理想と現実のギャップを会員間で認識。

ISO/TC184国内審議団体事業

2023年度成果と今後

- ISO/TC184関連国際会議に委員を派遣するとともに、国際規格開発に対する国内の対応・意見を纏めるため各種国内対策委員会を開催し、国際会議での議論、国際規格投票へ反映
- Industrie4.0 & Smart Manufacturingの国際標準化の議論が進む中、ISO SMCCとIEC SyC SMとのJoint Task Force(OF1: 旧 SM2TF)、ISO/TC184とIEC/TC65とのJoint WG21(Smart Manufacturing Reference Model(s))に、委員を派遣し、直接的かつタイムリーに情報を収集し対応。5/8-10に東京会議を開催。

ISO/IECにおけるインダストリ4.0及びスマートマニュファクチャリング関係の組織



①の国内審議団体はMSTC、②の国内審議団体はJEMIMA、③の国内審議団体はRRI。

SMCC : Smart Manufacturing Coordinating Committee、SyC SM:Systems Committee Smart Manufacturing

SM2TF : Smart Manufacturing Standards Mapping Task Force